

49 立山博物館を中核とした文化観光拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設(設置者)：富山県立山博物館(富山県)
 文化観光推進事業者：
 立山町、(公社)とやま観光推進機構、(一社)立山町観光協会、立山黒部貫光(株)、立山貫光ターミナル(株)、(一社)立山ガイド協会、(株)縁溜

計画期間

2023年度～2027年度(5年間)

目標

- 来館者数
2022年度 6.5万人→2027年度 9.0万人(約1.4倍)
- 外国人来館者数
2019年度 400人(推計)→2027年度 1,000人(2.5倍)
※10年後(2032年度)には1,600人(4倍)
- 来館者の満足度
2020～2022年度平均 44.3%→2027年度 54.3%
- 博物館と立山黒部アルペンルートを相互に訪問した者の割合
2023年度 50%→2027年度 70%

文化観光拠点施設機能強化事業

<1.文化資源の魅力の増進>

- 立山信仰1300年ストーリー理解促進事業
- 立山黒部アルペンルート山荘・ホテル等におけるサテライト展示

<2.文化についての理解促進>

- 高精細「デジタル立山曼荼羅」展示
- 立山博物館敷地内施設・史跡解説強化事業

<3.文化観光に関する利便の増進>

- E-マウンテンバイクの活用、施設案内看板の増設等・多言語化

<4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

- 立山の文化・歴史をテーマとしたオリジナル商品開発・販売

<5.国内外への宣伝>

- WEBサイト「オンライン立山博物館(仮称)」の構築

<6.施設又は設備の整備>

- 無料Wi-Fi環境の整備

文化観光推進事業費(5年間の計画ベース)

271百万円(うち、文化観光推進事業補助金146百万円)

計画区域

立山エリア



中核文化観光拠点施設
(主要な文化資源)

主要な文化資源
(文化財等の種類)

飲食施設
販売施設

宿泊施設
その他施設